

News Release

2004年11月4日

< 報道資料 >

東北パイオニア株式会社

業界最高速・最高水準のDVD-R生産システムの新機種を開発 ～記録メディアトップメーカーTDK(株)とのアライアンスで実現～

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役社長：山田昭一）は、記録メディアのトップメーカーである TDK 株式会社（本社：東京都中央区日本橋 代表取締役社長：澤部 肇）とのアライアンスにより、業界最高倍速対応（×16倍）で最高水準の生産性（サイクルタイム2秒）を可能にした DVD-R インライン生産システム新機種 D4（MSH-6131）の開発に成功しました。

これは弊社 FA 事業部内のディスク生産部がかねてより開発を進めてきたもので、同事業部が長年培ってきた製造プロセスのノウハウに加え、Blu-ray ディスクなどの次世代ディスク開発における「素材技術」で業界最高のテクノロジーを有する TDK(株)が開発した、高倍速で最高の性能を発揮する記録膜用「高感度色素」を組み合わせることにより新機種の開発に成功したものです。

弊社ディスク生産装置事業は、これまでも CD-R や DVD-R の生産装置の分野で世界的に高い評価を得てきましたが、今回の16倍速、サイクルタイム2秒という超高性能な新型機種の市場投入により、世界中で拡大進歩を続ける光ディスク産業の中で、その源流となるディスク生産装置事業において一歩リードすることが可能となります。

今回開発に成功した新機種には、上に記した特長以外にも、次頁表に示す通り、従来機種同様の省スペース化を機能倍増の条件下でも実現し、ディスク生産のコストパフォーマンスの向上、装置受託から製造・納入までのリードタイムの短縮化、2面取り金型及び新規貼合機搭載など、様々な新技術が盛り込まれており、文字通りの最新鋭機となります。また TDK(株)とのアライアンスにより、同社が保有し、弊社が新機種 D4（MSH-6131）に初めて採用する16倍速用対応の高感度色素は、これまで業界では難しいとされた、等倍速、2倍速、4倍速、8倍速、16倍速まで全てをカバーするディスクの生産を可能にし、画期的な生産装置とすることができました。

弊社では、11月4～6日の3日間、記録ディスク生産国別シェアトップである台湾において、台北近郊にあるリゾートホテル（揚昇山荘「Sunrise Resort Hotel」；326 桃園縣楊梅鎮揚昇路 256）を会場に、アジア各国から有力顧客を招き、新機種 D4（MSH-6131）の展示会を開催することになっています。また、この展示会では現在パイオニア(株)にて開発を進めている2層型 DVD R ディスク及び最新の記録再生機の展示も行う予定になっています。

【弊社従来機種とD4 MSH-6131との主要スペック比較表】

形式	弊社従来機種	新規開発機種
	D 2 / 3 MSH - 6118	D 4 MSH-6131
サイクルタイム	3.5秒/枚	2秒/枚
装置占有スペース	74㎡(7.0m×10.5m)	80㎡(8.8m×9.1m)
信号面倍速対応	等倍速、×2、×4、×8	等倍速、×2、×8、×16
ダミー面	1面取り	2面取り
貼合機	外部購入	自社開発&内製化



DVD-R インライン生産システム新機種 D4 (MSH-6131)

<この件に関するお問い合わせ先>

東北パイオニア株式会社 広報部 稲葉・長沢 電話：023-654-9198 FAX：023-654-9526
 <広報代行>(株)プラップジャパン 苅田・新井 電話：03-3486-6868 FAX：03-3486-7502